平成 26 年度　国立情報学研究所実務研修　報告書

平成 26 年 8 月 13 日
新潟大学学術情報部学術情報管理課
関澤　智子

目次

１　研修目的
２　研修先および研修期間
３　研修内容
　３．１　研修スケジュール概要
　３．２　研修日程
　３．３　研修内容
４　研修成果
５　受入体制・研修環境
６　研修を終えて
７　添付資料

１　研修目的

図書館連携・協力室（JUSTICE 事務局）において，出版社交渉に関わる業務を経験することで，コンソーシアム活動への理解を深めることを目的とする。
また，電子ジャーナル契約見直しに関するモデルケース作成を研修テーマとして設定し，国内大学への聞き取り調査をふまえて検討を行う。

２　研修先および研修期間

研修先　：国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室（JUSTICE 事務局）
研修期間：平成 26 年 5 月 16 日（金）～平成 26 年 8 月 13 日（水）

３　研修内容

３．１　研修スケジュール概要

平成 26 年 5 月
・JUSTICE 事務局，および学術コンテンツ課の事業・業務を理解する。
・出版社との打ち合わせ・交渉へ参加。議事メモを作成する。(研修期間中は随時)

平成 26 年 6 月
・研修テーマ，成果物を決定する。

・研修テーマにおける調査内容，調査項目を検討する。
・調査対象大学に出張し，各大学の電子ジャーナル契約見直しに関する取り組みについて聞き取り調査を行う。(6 月中旬～7 月中旬)

平成 26 年 7 月
・聞き取り調査内容をまとめ，実務研修成果報告会に向けて発表資料を作成する。

平成 26 年 8 月
・実務研修成果報告会で報告を行う。
・実務研修報告書，実務研修フライヤーを作成する。

３．２　研修日程

第 1 週（5/16）
実務研修開講式，諸手続き，新聞社取材陪席

第 2 週（5/19～5/23）
実務研修概要説明，JUSTICE 事業説明，学術コンテンツ課事業説明，研修テーマ検討，出版社交渉 4 件，その他打合せ 1 件

第 3 週（5/26～5/30）
出版社交渉 1 件，第 1 回 JUSTICE 運営委員会・広報作業部会，広報作業部会議事メモ作成，国立情報学研究所学術情報基盤オープンフォーラム聴講・運営補助，JUSTICE ホームページ更新・提案書掲載

第 4 週（6/2～6/6）
出版社交渉 4 件，出版社交渉メモ作成，研修テーマ検討，JUSTICE ホームページ更新・提案書掲載

第 5 週（6/9～6/13）
出版社交渉 6 件，出版社交渉メモ作成，バイエルン州立図書館との意見交換会，JUSTICE ホームページ更新・提案書掲載

第 6 週（6/16～6/20）
出版社交渉 1 件，出版社懇談 1 件，出版社交渉メモ作成，電子ジャーナル聞き取り調査 2 件，第 61 回国立大学図書館協会総会（JUSTICE ブース出展）

第 7 週（6/23～6/27）
出版社交渉 2 件，出版社交渉メモ作成，第 1 回国内電子書籍に関する検討会，その他打合せ 1 件，横浜国立大学附属図書館訪問（学術情報シンポジウム聴講）

第 8 週（6/30～7/4）
出版社懇談 1 件，電子ジャーナル聞き取り調査 2 件，学術情報ソリューションセミナー参加

第 9 週（7/7～7/11）
出版社交渉 2 件，電子ジャーナル聞き取り調査 2 件，第 8 回連携・協力推進会議陪席，実務研修進捗打合せ

第 10 週（7/14～7/18）

出版社交渉2件，電子ジャーナル聞き取り調査1件，オープンアクセス誌出版社との意見交換会，新聞社取材陪席，JUSTICEホームページ更新・提案書掲載，実務研修進捗打合せ

第11週（7/22～7/25）

出版社交渉1件，第2回JUSTICE運営委員会，JUSTICEホームページ更新・提案書掲載，JUSTICE事業説明資料作成，実務研修進捗打合せ

第12週（7/28～8/1）

出版社交渉2件，出版社懇談1件，その他打合せ1件，東京外国語大学附属図書館との意見交換会（JUSTICE事業説明を担当），実務研修進捗打合せ

第13週（8/4～8/8）

出版社交渉1件，出版社懇談1件、実務研修成果報告会発表資料作成，実務研修成果報告会，第1回SPARC Japanセミナー2014聴講

第14週（8/11～8/13）

実務研修報告書作成，実務研修フライヤー作成，実務研修修了式

３．３　研修内容

- JUSTICE事務局業務
  - 出版社との打ち合わせ・交渉への参加と記録
  - 会議・関連行事への参加
- 電子ジャーナル契約見直し手順に関する聞き取り調査
- 各種セミナーへの参加

4　研修成果

- JUSTICE事務局業務

➢ 出版社との打ち合わせ・交渉への参加と記録

3ヶ月の研修期間中に，26回の出版社との打合せ・交渉に参加した。研修参加前は交渉業務については全く知識がなかったが，提案内容の確認からはじまり，出版社や代理店との交渉を経て，提案合意・会員館への開示に至るまでのプロセスを経験することで，交渉の一連の流れについて学ぶことができた。また，提案内容の確認作業を通じて，所属大学では契約していない様々な電子リソースの情報に触れ，理解を深めることができた。実際の交渉の現場では，海外の出版社やコンソーシアムの動向をふまえて議論が進められることもあり，グローバルな視点をもつことの重要性を学んだ。

➢ 会議・関連行事への参加

以下のJUSTICE運営委員会・作業部会の会議に同席し，出版社交渉以外のコンソーシアム活動についても理解を深めることができた。また，6月に開催された第61回国立大学図書館協会総会では，JUSTICEブースにおいて，JUSTICEの事業・取組みについて広報活動を行った。

・第1回，第2回JUSTICE運営委員会，第1回広報作業部会

・第 1 回国内電子書籍に関する検討会
・第 61 回国立大学図書館協会総会（JUSTICE ブース出展）

・ 電子ジャーナル契約見直しに関する聞き取り調査

実務研修テーマとして設定した「電子ジャーナル契約見直しに関するモデルケース作成に向けた調査・検討」においては，電子ジャーナル契約の見直し実績のある機関など国内大学７校に赴いて聞き取り調査を行った。特定の規模や種別に絞らずに調査対象機関を設定したことにより，国公私の様々な規模の大学図書館がおかれている現状や課題について幅広く知ることができた。各大学の調査結果は，予算/検討体制/整備方針/通常見直し手順/大幅見直し手順/学内広報の 6 項目について整理し，それらをふまえてモデルケース作成に向けた検討を行った。

どの大学においても，電子ジャーナルの価格上昇や，為替レートの円安傾向，消費税率改正などの影響により，契約内容の見直しは喫緊の課題となっており，契約見直し事例や検討事例についての情報共有が求められていると感じた。また，そうした現状を知ることにより，電子資料契約におけるコンソーシアムの意義や重要性ついても，自分なりに考察することができた。

・ 各種セミナーへの参加

研修期間中は，NII 主催のイベントや意見交換会をはじめ，所内外で開催されるセミナーに参加する機会をいただいた。NII 主催の学術情報基盤オープンフォーラムにおいては，オープンアクセスをテーマとしたセッションを聴講し，NII の事業や，国内外の学術情報流通に関する最新動向について理解を深めることができた。参加した主なセミナーを以下に記す。

・NII 学術情報基盤オープンフォーラム
・学術情報シンポジウム（横浜国立大学附属図書館主催）
・第 10 回学術情報ソリューションセミナー
・第 1 回 SPARC Japan セミナー2014

5　受入体制・研修環境

・ NII から徒歩圏内にマンスリーマンションを用意していただき，通勤に困ることはなかった。
・ 席は図書館連携・協力室（JUSTICE 事務局）に用意していただき、分からない点はいつでも質問できる体制が整っていた。
・ 研修テーマについては，テーマ内容決定から成果報告発表資料作成まで随時相談できる体制を取っていただき，進捗状況を共有しながら取り組むことができた。

6　研修を終えて

3 ヶ月という短い期間だったが，大学図書館の業務だけでは得ることのできない貴重な

経験をさせていただいた。研修期間の5月から8月は，JUSTICE事務局にとって，2015年向け提案の条件交渉の山場の時期にあたり，毎週のように出版社交渉の現場を経験することができたことは非常に有意義だった。コンソーシアムの活動には多くの運営委員や作業部会委員の方々が携わっており，自機関の担当業務の傍ら，出版社交渉にも精力的に取り組んでいる姿からも学ぶことが多かった。

研修テーマにおいては，調査に対応いただいた各大学の担当者の方々が，検討内容や取組みについて惜しみなく情報提供をしてくださったおかげで，所属大学以外の電子ジャーナル契約における現状や課題を幅広く知ることができた。

研修中は，コンソーシアムの意義や役割，JUSTICEと会員館との連携・協力について考えることも多かった。所属大学で雑誌契約業務を担当している自分にとって，JUSTICE事務局における研修は日々学ぶことが多く，3ヶ月の研修期間は本当にあっという間だった。今後も，この研修で得た知識や経験を活かして業務に取り組んでいきたい。

7　添付資料

・「平成26年度国立情報学研究所実務研修報告」
（平成26年8月8日（金）実務研修成果報告会　発表資料）